

四番町図書館コメントコンテスト

応募総数 121 点から 司書が 選んだ

コメント 10 点!

あなたの投票で 大賞が決まります!

2 「あと少し、もう少し」

瀬尾まいこ 著



新潮社

個性豊かな登場人物が出てきます。メンバーの駅伝に対する思いや気持ちは同じです。6人で襷をつないで走る駅伝。1人1人がそれぞれ、悩みや不調を乗り越えて走る姿が本当に輝いて見えます。朝から夜まで走り続ける。自分のペースで走るために自分と向き合う。駅伝に熱い思いをこめたメンバーが団結します。とてもハラハラ、ドキドキします。みんなが頑張っている姿を見て、自分自身も目標に向かって進んでいきたいと思いました。【たまごさん】

4 「心のおくりびと

東日本大震災 復元納棺師

～思い出が動きだす日～

今西乃子 著/浜田一男 写真

金の星社



3年前に起きた、東日本大震災で復元納棺師をされている笹原留似子さんの活動を追った震災の裏側を知ることが出来る一冊です。ご遺体をできるだけ元の姿に、生前の姿に戻してご遺族の方と最後の別れを生前に近い形にお見送りするのが納棺師のごとなのです。その中での私たちがなかなか知ることができない現実やかなしさを、無念さがとてもわかります。復興を考えるきっかけにもなるし、本当の復興とは何かを考えさせられる一冊。【Rinaさん】

3 「おおきな木」

シェル・シルヴァスタイン 作

村上春樹 訳

あすなろ書房



この絵本は、お互いのことが大好きな「おおきな木」と「少年」のおはなしです。かわいくて単純な絵とやさしい言葉で書かれた絵本ですが、一度読んだだけで簡単にのみこめるような内容ではありません。奥深くてやさしくて、改めて自分を考えさせられるような、子供だけでなく大人にも親しめる作品です。今、手に取って読んだ時の感想と五年後、十年後に読むときの感想はきっとちがうと思います。ぜひ、読んでみてください。【明太子さん】

5 「天路 (TENRO)」

宗田理 著

講談社



担任の女教師を殺してしまった少年幸雄の、自らの罪を告白しながら全国を歩くというストーリー。人を殺した罪は償えるのか？許されてもいいのか？誰もが悩むようなその疑問を晴らしてくれるかもしれない本。読み終わった後はひたすらすごいとしか言えなかった、私の中の名作。罪と罰、そして許すということ。何かの罪に苛まれている人、誰かを許せない人は一度読んでみたら何かガラリと変わるかもしれません。【花見さん】

6 「ネルソンさん、

あなたは人を殺しましたか？」

アレン・ネルソン 著

講談社



この本は、海兵隊員としてベトナム戦争の前線に戦った著者の体験を生々しく語った本です。歴史の授業で習うようなものではなく、一人の兵士の視点でその場の感情などがリアルに記録されています。読み進めると目をそむけたいくなる場面に何度もぶつかりました。著者が語った本当の戦争。戦争は一人の人間をどのように変えていったか。あなたはそれを知る覚悟はありますか？

【トマ美ちゃん☆さん】

8 「モモ」

ミヒヤエル・エンテ 作

大島 かおり 訳

岩波書店



人々は時間を奪う「灰色の男達」によって知らず知らずのうちに時間を奪われ、時間を節約しなくてはとせかせか働き、人への思いやりがなくなり、心のゆとりがなくなっていく。時間を効率よく使うことが良いとされる現代の社会を描いているようだ。「忙しい、忙しい」と嘆く現代の人々。「忙」という漢字は「心を亡くす」と書くが、忙しさに呑み込まれることなく自分自身を見失わないように過ごしていきたいものだ。【あわはらさん】

10 「和菓子のアン」

坂木 司 著

光文社



この本は主人公梅本杏子がテバ地下の和菓子店「みつ屋」で働き始め、和菓子の歴史や用語について学んでいき、お客さんとも信頼を深めていくお話です。この本を読めば、主人公の働きを応援したくなるし、和菓子について知りたいという気持ちになると思います。【A・Nさん】

7 「ハイ☆スピード！」

おおじ こうじ 著

京都アニメーション



この作品は、水泳を通して深まる絆や友情の物語だ。舞台は岩倉町という田舎町に住んでいる男達が水泳を始めるところから始まる。私はこの作品を読み「水」というキーワードに注目してみた。「水は生きているとはどういうことだろう」「水を感じるとはどういうことだろう」読んでいくうちに主人公の「水」への思い、泳ぐことに対する考えが明らかになりどんどん世界観に引き込まれていった。作中の「水」の書き方も注目である。【Y・Sさん】

9 「リカ」

五十嵐 貴久 著

幻冬舎



あなたは、出会い系サイトを利用していますか？妻子を愛する42歳の平凡な会社員・本間が、大学の後輩に勧められて始めた出会い系サイトで理想の女性、リカに出会う。しかし、彼女はありえない手段で本間に近づこうとし、本間はおびえて連絡を絶つ。そこから、リカのストーキングが始まって…会わなければわからない出会い系サイトの怖さがとてもよくわかる話で、読みだしたら止まらないホラーサスペンス物語です。【Y・Hさん】

・展示、投票期間 10/27(月)～11/9(日)

・コメントを読んで、「いちばん「読みたい!」と思った本に投票をお願い致します。

・備え付けの投票用紙にご記入のうえ、専用の投票箱に投票してください。

(投票箱設置館：四番町図書館・千代田図書館・日比谷図書文化館・昌平まちかど図書館・神田まちかど図書館)

・得票順に大賞1名・準大賞2名を決定します。

・発表は11月中旬です。(千代田区立図書館に掲示します)